

活動名	団体名	峰田小夢配達人プロジェクト庄原市実行委員会
	地域	広島県庄原市
	代表者	会長 中田 康造
	支援金額	50万円
峰田小夢配達人プロジェクト推進事業(絵本作成)		
活動概要		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 自然環境や環境問題、環境を守る取り組みについて、体験的な学習をとおして理解を深める。 2月「地球にもみんなにもやさしい、ペレットストーブ」 3月「森、木はどうして必要なんだろう」 5月「森のひみつを見つけよう」 7月「地球温暖化の真実を知ろう」 9月「庄原の環境はどうなっている？」 10～11月「アサヒ森の子塾」 ・ 「地球温暖化の真実を伝える絵本作り」 H20年4月～H21年2月 「絵本っておもしろい」 ①構想、あらすじの作成 ②構成 ③巨大絵本作成 ④アピール活動(地域を中心に発表) ・ 絵本を送付 12月「まけるな! キジバト」絵本を県内全域の小学校へ贈る。 <p>◆実施時期: H20年4月～H21年2月 峰田小学校、アサヒの森、県立広島大学庄原キャンパス</p> <p>◆参加人数: 峰田小学校(会場): 550名 アサヒの森(庄原市比和町古頃): 185名 県立広島大学庄原キャンパス: 56名 庄原市市役所訪問: 11名 広島県庁訪問: 18名 マツダ財団訪問: 17名</p> <p style="text-align: right;">参加総人員 837名</p>		



《アサヒ森の子塾 伐採のお話》



《庄原の環境授業 オオマリコケムシ》



《大型絵本作成風景》



《大型絵本完成》

◆活動が関連する団体等、地域社会等に与えた影響

- ・環境学習を体験的に学習することで、これまで以上に地域の自然(川、山、生き物)に対する関心が高まった。
- ・身近な自然に関心を持つ児童やその変化に気づく児童が増えた。
- ・身近な動物に進んで触れたり植物へ水をやったりするなど、積極的に関わろうとするようになった。
- ・絵本作りという夢を実現させる体験をとおし、高学年児童は、自分の将来の夢をしっかりと持つ児童が増えた。
- ・体験的な環境学習や夢配達人や講師から指導を受け、環境を守ろうとする人々の努力や工夫にふれたことで、自分たちの手で環境を守っていこうとする態度や実践的な力が育ってきている。
(油や洗剤をあまり使わないようにする。物を大切にすること。ごみを出さないようにすること。木を大切にすること。未来の地球を守ること。など)
- ・多くの人たちの支援で絵本作りや「地球温暖化の真実を伝える絵本をつくりたい」という子どもの「夢」が実現したことで、今後も学校や子ども達をしっかりと支援していこうとする地域や保護者の意識が高まった。
- ・広島県内のすべての小学校へ絵本を配布した。各小学校で「まけるな！キジバト」の絵本が読まれることで、自然や地球温暖化についての関心が高まってくると考えられる。
- ・広島県内のすべての小学校へ絵本の配布により、小学生の「夢」が実現されることを身近に感じることで、たくさんの子もたちが夢をもち、その夢の実現に向け一歩踏み出すことが期待される。
- ・絵本「まけるな！キジバト」が、県内の小学校への配布にとどまることなく、全国の一般書店でも取り扱われることになった。このことを通し県内の小学生児童だけでなく、広く全国の小学生をはじめ、たくさんの人に読まれることで、全国で自然や地球温暖化についての関心が高まっていくと期待できる。
- ・県内の小学校から、「低学年の児童にも自然や地球温暖化についてわかりやすく、親しみやすい絵本でよかった。」などお礼の電話があった。

◆苦労した点

- ・絵本作り(印刷、製本など)予算の立案が難しかった。
- ・「地球の温暖化の真実を伝える絵本」の全体構想やあらすじを、児童から引き出すことが難しかった。
- ・予算化されたが、指導者の確保が難しかった。
- ・活動の様子をホームページを通して外部へPRするとともに、メディア(テレビ、新聞)を効果的に活用することが難しかった。
- ・広島県内のすべての小学校へ配布が難しかった。

◆今後の課題・発展の方向性

- ・絵本を完成させ、広島県内の小学校へ配布したことで取り組みを終えたが、今後も自然環境や環境を守る取り組みを継続して進めたいが、予算が十分確保されていない。
- ・今後も継続して関係団体(庄原市、県立広島大学、アサヒの森)と連携し、自然環境や環境を守る取り組みを進め、児童の自然に対する理解や環境を守っていこうとする態度や実践力を育てる。

◆活動を終えての感想・意見等

子ども達の夢の実現にむけて、「峰田小夢配達人プロジェクト庄原市実行委員会」を設置し、夢実現プログラムを策定(夢配達人の派遣、絵本作成の支援、環境問題の学習の手助け等)を行い、青少年の夢や目標を育む地域づくりに取り組んできました。

事業を進めるにあたっては、夢の実現にむけ「峰田小学校みんなで取り組んでいこう」を合言葉に本校全児童38名が、夢配達人から直接指導をしていただきました。その「夢プロジェクト授業」(身近な地域自然、環境に目を向けた環境学習、夢配達人の絵本づくり学習、大型絵本の作成等)に取り組み、身近な山や川が多く生き物にとって大切であることや自然環境を守ることが地球温暖化を防ぐために大切な役割であることを学び、この「まけるなキジバト」が完成しました。多くの皆さんに読んでいただき、「地球温暖化」をストップさせるために、今、私たちにできることについて考えてもらえる機会となればと思います。

この事業や活動を支援していただいた、マツダ財団をはじめ、惜しみない協力をしてくださった多くの皆様に心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。